

第8回 アジア太平洋地域インフラ担当大臣会合 大臣声明の概要

テーマ： 気候変動と水関連リスクへの対応

共通認識

- ・洪水、土砂災害、渇水、水質悪化など水に係る諸問題の解決は、持続的な発展、環境や生態系の保全に不可欠
- ・今後、気候変動の影響により洪水や渇水被害の頻発・激化、水質悪化などのリスクが増大する恐れ
- ・参加国・地域の政府は、水関連リスクへの対応について、あらゆるレベルでの協力のもと、重要な政策課題として取り組んでいくことが不可欠

今後の取り組み

- ・気候変動の影響により増大する水関連リスクに対応するため、適応策を強力に推進
 - ハード対策・ソフト対策を併せた総合的な取り組み
 - 総合水資源管理の推進
 - 人工衛星の降雨データによる洪水予測
 - 既存施設の有効利用・長寿命化
 - 先進技術による下水処理水の再利用
- ・モニタリングや予測結果に応じて適応策を柔軟に見直し
- ・水文情報の予測技術向上とデータの共有
- ・国際協力の推進